

市政を問う

一般質問



関貴久仁郎 議員
(かがやき)

遠いようで よう行かんわ

問 参加者の少ない市民懇談会、市と遠くなった距離感。29か所のコミュニティセンター単位での開催はできないか

答 平成18年の懇談会参加者は474人、今回は257人と減っているが、実感として大体こんなものと思う。基本構想という抽象的な議論、事の性格上仕方ない。また多忙で、29か所のコミュニティ単位では現実的にできない。

問 市域が広がったことが合併後の最大のデメリットと思う。市との距離感が遠くなった。答弁では、今はこうなったから仕方ないとか聞こえない。多くの市民に内容を伝えてほしいが、本当に無理なのか

答 審議会でも市民委員の意見も多く聞いている。

帳面消しではなく 市民に寄り添った行動を！

成案をどのように伝えていくかを十分に考えるが、個別の説明会開催は考えていない。

教職員の過剰労働

問 本市の教員労働時間の実態、また過剰労働時間対策はどのようなのか

答 週当たり、小学校12時間50分、中学校17時間ほどの残業である。県教

委推奨の勤務時間適正化推進プラン等を積極的に活用しているが、最大要因は児童生徒指導である。専門員を増員し教職員の支援を行っている。

法令遵守・寄り添う時間へ傾注

問 文科省の報告で、給食費の公会計化で教員の負担軽減が図れる、と給食費公会計化を指摘。子どもたちのための時間を増やし、教育に専念するために必要と思われるが、本市の実施状況はどうか

答 実施には予算が必要で、一部折衷案のような私会計的なものを使っている。



伊藤 仁 議員
(とよおか市民クラブ)

敬老会補助金の廃止！

問 廃止の提案をされ、3か月が経過しているが、30年度からの廃止の考えに変わりはないのか

答 3月議会で説明したとおり、29年度限りで廃止する考えに変更はない。

問 補助金をもとに敬老会が実施され、年に一度とはいえ、楽しみにされている。担当課として敬老会開催事業をどのように評価しているのか、また廃止の方針に対する高齢者や地区の反応はどうか

答 地区で工夫を凝らし、高齢者の方の生きがいになったり、明日への活力により成果が出ることにより認められる。ただ、一日のために2200万円を使うのか、限られた財源をより効果的に使うという道を探ることをしなくないのか、このような観点から、今回の見直しに至ったものである。

共感は得られてませんよ

問 使い道が全く決まっていない中で、廃止を前提とせず敬老会などで高齢者福祉や、コミュニティに目的交付金として渡すべきだと思いが

答 各コミュニティへの交付金として使うことも選択肢の一つ。市の施策として使うことも全く否定はしない。地区の状況はさまざま、現時点で高齢者福祉に限定してしまうのがいいのか、もう少しそこはやりわらかさを持たせたほうがいいのか、仮にコミュニティに交付金を出す場合でもその点は慎重に議論し、検討していく。

問 どうしたら、大勢の人に？

祝 敬老会



来年も会いたいな…

市政を問う



上田 伴子 議員
(日本共産党・あおぞら
豊岡市会議員団)

市民の声を大切に 市政運営を

敬老会への補助金 廃止の撤回を

問 敬老会の補助金がなくなれば、敬老会の開催ができなくなるとの声を聞く。市民との対話と共感の上で結論を出して欲しいがどうか

答 高齢者の意見を聞くべきだとは思いますが、2000万円の使い道については、地域のコミュニティ組織に交付金として交付するなどを検討している。

問 28年度は323行政区で敬老会を開催している。一年に一度の敬老会が高齢者の元気の元になっている。市長の頭の中にもっと市民から出た意見を入れてもらいたいと思うがどうか

答 一年に一度楽しくても次の日には忘れられている。各コミュニティセンター内には県民交流広



高齢者の声を聞いてほしい

地域コミュニティのスタートは！

問 29年度4月よりスタートして、公民館が廃止された。地域に丸投げされたと受け止めている市民も多い。スタートしたので、今までの公民館よ

り、一歩進んで地域の活性化を図らねばならない。コミュニティの運営には財源と人材が必要だが、十分に配分されているか。また、36年度からの指定管理制度への見直しはどうか

答 コミュニティ組織立ち上げに携われた人たちに敬意を表する。交付金は人口割と均等割にしたが、組織の基礎的な部分を多くした。できる限りあり方方針に沿って、10年後指定管理にするが、軌道修正があるかもわからない。



西田 真 議員
(ひかり)

手話ハンドブック導入等 障害者福祉の充実を

手話ハンドブック導入

問 小中学校で、障害者や高齢者福祉の理解を深めるための総合学習として、手話教育を広めてはどうか。他の自治体では、手話ハンドブックを作り、学校で活用するなど、先進的な取り組みをしている所もある。本市としても導入してはどうか

答 子どもたちが全ての人々と尊重し合い、心豊かに共生していこうという力をつけるためにも、今後、手話教室を含めた福祉教育の取組みが充実するよう、指導助言をして



手話ハンドブック〔入門編〕(鳥取県HPより引用)

交通事故防止対策

問 現在、城崎では観光客がとても多く、歩行者も車両も通行しにくい非常に危険な地藏湯前交差点の信号を、安全確保の

ために歩車分離式信号機に改良してはどうか

答 城崎地藏湯前交差点の歩車分離式信号機の導入は、警察に問い合わせたところ、歩行者の待機スペースがないため、現状では設置できないとの回答。要望については、今後も行いたい。

聴覚障害者向け119

問 インターネットを通じて、スマートフォン画面タッチで119番通報ができるシステムを導入する消防本部が増えている。聴覚や言語機能に障害のある人が素早く通報でき、位置情報も伝えられるのが利点だ。今後、導入の検討はどうか

答 システムについては承知している。今後、国の動向を注視し、必要に応じ導入の検討を行いたい。